



「現代女性とキャリア連携専攻」

2008年度 推薦図書リスト

①書名：おとぎ話における母

著者：S. ビルクホイザー＝オエリ著 氏原寛訳

発行：人文書院，1985年

所蔵：図書館目白，図書館西生田 請求記号：388-Bir

百々佑利子先生（児童学科）の推薦のことば：ユング心理学の研究者による、「心の内的なドラマ」であるおとぎ話の解釈。女性性や女性的叡知について、自らうけた心理分析の経験をいかしながら語る文明批評として読むことができる。



②書名：胎内で成人病は始まっている

—母親の正しい食生活が子どもを未来の病気から守る

著者：デイヴィッド・バーカー著 福岡 秀興監修・解説 藤井留美訳

発行：ソニー・マガジズ，2005年

所蔵：図書館目白 請求記号：498.59-Bar

五関正江先生（食物学科）の推薦のことば：近年、胎児期の低栄養が生活習慣病の発症リスクを高めることが明らかになってきました。低出生体重児出産の頻度が増加しており、妊娠前の低体重（やせ）や妊娠中の低栄養（体重制限）などがその原因と考えられています。平成18年度国民健康・栄養調査によると、20歳代女性の約2割が低体重です。若年女性の低栄養状態は、自身の健康維持・増進の妨げになるだけでなく、生まれてくる赤ちゃんの将来のためにも深刻な問題となっています。ぜひこの一冊を読んでください。



③書名：住まいと家族をめぐる物語（集英社新書 0263B）

著者：西川祐子著

発行：集英社，2004年

所蔵：図書館目白，図書館西生田 請求記号：365.3-Nis

篠原聡子先生（住居学科）の推薦のことば：住まいをやや俯瞰的に眺めるとこんな景色がみえてくるんだ、と思える本です。ジェンダースタディの一冊でもあり、建築の一冊でもあり、歴史の一冊でもあります。

④書名：衣服は肉体になにを与えたか：現代モードの社会学（朝日選書 629）

著者：北山晴一著

発行：朝日新聞社，1999年

所蔵：図書館目白，図書館西生田 請求記号：383.1-Kit

佐々井啓先生（被服学科）の推薦のことば：人間は衣服を、身体を文明化するための重要な手段として使ってきた。かつては社会を象徴するものであった衣服が、近代では個人のアイデンティティの道具となったのである。本書はこのような視点から、社会が生み出す衣服の表象性を解説している。とりわけ、衣服が男女の別を明らかにするものである一方、異性装というトランスジェンダーの問題を含んでいることについても分析している。



⑤書名：女性研究者のエンパワーメント

著者：伊藤セツ

発行：ドメス出版，2008年

所蔵：図書館目白 請求記号：407-Ito

住沢博樹先生（家政経済学科）の推薦のことば：著名な生活経営・経済の研究者が、自分の研究者としての自伝と若い世代の育成を重ね合わせてのべる。

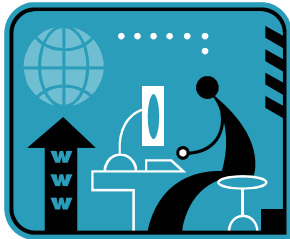
⑥書 名：日本女子大学に学んだ文学者たち

著 者：青木生子，岩淵宏子編

発 行：翰林書房，2004年

所 蔵：図書館目白，図書館西生田 請求記号：377.28-Nih

倉田宏子先生（日本文学科）の推薦のことば：本書は，日本女子大学創設時より今日に至るまでのおよそ百年間に本学で学んだ文学者の中から，各時代・各ジャンルにおける先駆者となった30人を取り上げたものである。田村俊子・宮本百合子・平塚らいてう・石井桃子・安房直子・橋田壽賀子・平岩弓枝などが論及されている。



⑦書 名：自分だけの部屋

著 者：ヴァージニア・ウルフ著 川本静子訳

発 行：みすず書房，1988年

所 蔵：図書館目白，図書館西生田 請求記号：934-Woo

ソートン不破直子先生（英文学科）の推薦のことば：1960年代のフェミニズムが隆盛になるずっと以前の1920年代に，イギリスの女性小説家が書いたもの。

シェイクスピアの妹（架空）が兄のような劇作家になろうとしても絶対になれなかった話を中心として，文学は何よりもまず経済的自立がなければ成立しないと主張して，現代のお定まりのフェミニズムよりずっと新鮮です。

⑧書 名：世界で一番美しい愛の歴史

著 者：J. ルーゴフ，A. コルバンほか，小倉孝誠，後平隆，後平濤子訳

発 行：藤原書店，2004年

所 蔵：図書館目白 請求記号：384.7-Sek

高頭麻子先生（史学科）の推薦のことば：先史時代から現代までの愛のありようを，9人の歴史家が語る。タイトルとは裏腹に，愛を美化するあらゆる幻想，先入見を剥ぎ取り，いかなるイデオロギーやお説教からも自由に，各時代の愛の理想と現実の乖離，女性観や結婚観を教えてくれる。インタビュー形式なので読みやすい。



⑨書 名：科学史から消された女性たち —アカデミー下の知と創造性—

著 者：ロンダ・シービンガー著 小川眞里子，藤岡伸子，家田貴子訳

発 行：工作舎，1992年

所 蔵：図書館目白，図書館西生田 請求記号：402.3-Sch

高橋雅江先生（数物科学科）の推薦のことば：この本を読むと，二度もノーベル賞を受賞した最初の人物であるマリー・キュリーでさえ，1911年にパリ科学アカデミーの会員の資格をただ女だからという理由で拒否されてしまった理不尽さに対する解答や，なぜ女性科学者が少数なのかという素朴な疑問の解答が得られるでしょう。

⑩書 名：脳は空より広いか：「私」という現象を考える

著 者：ジェラルド・M. エーデルマン著 冬樹純子訳，豊嶋良一監修

発 行：草思社，2006年

所 蔵：図書館目白，図書館西生田 請求記号：491.37-Ede

金子堯子先生（物質生物科学科）の推薦のことば：学生の皆さんが，つねに頭にある問題といえば，“私とは？”ということではないでしょうか。心が脳にあることが認識されてからまだ，間もないということですが，ノーベル医学・生理学賞を受賞したジェラルド・M・エーデルマンが脳のはたらきについて解説しているので，ぜひ一読をお勧めします。

